

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和3年3月18日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 佐藤 肇
経営サポートセンター リサーチグループ
グループリーダー 石塚 敬之
担当 佐野 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

2019年度（令和元年度）決算 認知症高齢者グループホーム の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2019年度の認知症高齢者グループホームの経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiqa-tabid-1976/>

1. 調査の概要

- | | |
|-------|------------------------|
| ■調査時点 | 毎年1回（決算データ） |
| ■集計施設 | 認知症高齢者グループホーム（1,933施設） |
| ■調査目的 | 機構融資先の債権管理の一環 |

※経営分析参考指標（2019年度決算分）（有料）の販売については、現在予約申込受付中です。

2. 2019年度決算の概要

- 利用率は前年度から0.2ポイント上昇の96.1%となった。また、利用者1人1日当たりサービス活動収益は前年度から133円上昇し13,038円となった。
- 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）の取得率は、前年度から2.7ポイント上昇の91.9%となった。
- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は、前年度より0.2ポイント上昇の3.7%となった。これは、利用者1人1日当たりサービス活動収益が増加したことに伴い経費率が低下したことが主な要因である。